

桂萱地区青少年健全育成会は、地域の青少年が心身ともに健やかに成長するように、地域で子どもたちを見守り育て、社会の一員として自立していくことを願い、青少年健全育成活動を推進しています。

主な計画の取組としては下記のとおりとなります。

- ①「青少年健全育成活動」…のびゆくこどものつどい、前橋のこどもを明るく育てる活動、地域内世代間交流等
 - ②「防犯・環境浄化活動」…巡回、あいさつ、声かけ運動等
 - ③「広報活動」…啓発活動（看板作成）、広報紙の作成及び配布等
- 一昨年度、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために事業が計画どおりに行うことができない中、対策可能な方法に変更して実施するなど、子どもたちとの関わりを大切に事業を継続しています。
今後も桂萱地区青少年健全育成会の活動に、ご理解、ご協力をお願いいたします。

令和4年度 主な行事報告



「前橋のこどもを明るく育てる活動」桂萱地区講演会 11/25
群馬大学の竹内一夫教授による「子育て世代のためのメンタルヘルス」をテーマにした講演と、都家前橋さん（竹内教授同一人物）による落語を行いました。



子ども会親子スマイルボウリング大会 6/5
7育成会から13チームが参加して、桃木小学校体育館で熱戦が繰り広げられました。



子ども会親子工作教室 11/13
大人32人、子ども44人のほか役員・講師等合計約90人が参加。バルーンアートを親子で協力しながら制作しました。



子ども会書画展示会 11/19~12/4(表彰式 12/4)
出品された書道100点、絵画86点を桂萱公民館ロビーに展示しました。最終日の12月4日に優秀作品71点の受賞者を表彰しました。



子どもインリーダー・育成指導者講習会 7/17
子どもはカレー作り等を行い、育成者は食中毒予防の講習を受けました。また、時間帯を分けてともにKYTを受講し、午後はウォークラリーで汗を流しました。



子ども会上毛かるた競技交流会 1/15
高学年3チーム、低学年4チーム、合計7チームが参加して、3年ぶりのかるた競技を楽しみました。



「昨年につながる」

桂萱地区青少年健全育成会
会長 草間 幹雄



会長
草間 幹雄

昨年は、感染力の強い「オミクロン株」が、猛威を振るいました。「前橋のこどもを明るく育てる活動」では、例年、地元中学生による少年の主張及び海外研修報告や各種健全育成団体の発表会として行われておりましたが、一昨年度、昨年度と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となってしまいました。
令和4年度も発表会として開催を模索しておりましたが、コロナ禍のために難しく群馬大学健康支援総合センター副センター長の竹内教授に講演を依頼したところ快くお引き受けいただきまして、講演会を開催する運びとなりました。本活動が3年ぶりに開催できたことを竹内教授はじめ皆様のご協力に感謝申し上げます。来年度こそは、少年の主張や各種健全育成団体による発表会が開催されますことを願っております。
これからの時代が、子どもたちの素晴らしい時代になるように、社会全体で見守り育てることが大切だと思います。

「つる舞う形の群馬県」

桂萱地区子ども会育成団体連絡協議会
会長 吉野 努



会長
吉野 努

「つる舞う形の群馬県」のカラ読みで始まる上毛かるた競技。桂子連では、今年1月15日、3年ぶりに上毛かるた大会を開催しました。ただ、参加チームが7チームと少なかったため、高学年3チーム、低学年4チームのリーグ戦形式での交流会としての開催でした。練習をしてきたチーム、競技としての上毛かるたはじめての子もいましたが、静かな盛り上がりがありました。
群馬県内で育った人なら誰でも知っている「上毛かるた」は、戦後が終わって間もない昭和22年に作られました。それぞれの札には、上毛三山をはじめとした県内の自然、温泉、歴史上の人物や地域の産業などが読み込まれており、時代を超えて多くの県民に親しまれています。
残念ながら、以前に比べて学校や家庭で上毛かるたに接する場面が少なくなってきたという声を聞きます。今年度は、桂子連だけでなく、市子連や県子連でも3年ぶりに上毛かるた大会を開催しました。早く以前のように盛り上がることを期待しています。
「つる舞う形の群馬県」。上毛かるたを通して、日本の将来を担う子どもたちが郷土群馬県をよく知り、郷土を愛するようになってほしいと願っています。

「ボランティアを楽しむ」

桂萱地区青少年育成推進員会
会長 松田 和夫



会長
松田 和夫

今コロナ禍のなか、我々の活動はほとんど停滞しています。密を避けるという点から集団でのパトロールは中止し、個々での自町内の目配りに変え、定例会議は行事等が減少していることから回数を少なくし、公民館のホール等を利用して感染拡大に注意して実施しています。1期3年の任期もあと僅か、3月末で終わってしまいます。継続される方、次の方にバトンタッチされる方と分かれますが引き続き子ども達を見守るという気持ちは変わらないと思います。新任だった方には辛い3年間だったでしょう。使命感に燃え、地域の為、青少年の為ならばと推進員になられた訳ですが、拍子抜けしてしまったことと思います。本来ならもっと沢山の事ができ、地域の子どもや大人の方とふれあい、楽しさを味わうことが出来たはずでしたが実に残念です。
退任された方で組織を作り活動のサポートをして頂いています。直近では桂萱地区文化祭に協力して頂き、率先して動いて我々にアドバイスをしてくれる、非常に頼りになる存在でした。活動を楽しんでいるようにも見えました。
我々の活動はなかなか成果が見えない、達成感を感じづらい、そんな風に言われることがある。裏方としての動きが多く、縁の下の力持ち!そんなことかもしれない。大変なことももちろんありますが、楽しみも沢山あり、活動を楽しむ、そんなことが出来るはずではないのかと思います。
楽しい青少推活動を目指して!